

Marshall

報道関係者各位

2025年7月25日

Marshall Group AB

## Marshall、アウトドアアイテムとして人気のポータブルスピーカー 「Middleton II」、2025年7月25日（水）より 全国の家電量販店および各種 EC サイトにて販売開始

Marshall Group（本社：スウェーデン・ストックホルム、代表：Jeremy de Maillard、以下 Marshall）は、7月上旬より公式 EC サイトで発売となったポータブルスピーカー「Middleton II」について、7月25日（金）より、全国の家電量販店および各種 EC サイトにて販売を開始します。ヨドバシカメラ、ビックカメラなどの家電量販店、Amazon、楽天市場 Marshall 公式ストア、完美電気 Marshall 公式ストアなどの EC サイトで購入可能となります。



2023年に発売され、Marshallブランドの代表的なポータブルスピーカーとなった「Middleton」に、さらなる改良が加えられ、よりアウトドア環境に適したスピーカーとして7月上旬に新登場となった「Middleton II」。従来の1.5倍に相当する最大30時間のポータブル再生時間が可能で、Marshall独自の「True Stereophonic」全方位サウンドも装備している特長などから、まさにアウトドアに最適などこへでも持ち運べる高音質ポータブルスピーカーとして、人気を得ています。

この度、全国の家電量販店および各種 EC サイトにて販売を開始し、より気軽にお楽しみいただけるようになりました。

## 「Middleton II」の特長

- **最大 30 時間のポータブル再生時間**

従来の 1.5 倍に相当する最大 30 時間のポータブル再生時間が可能になり、丸 1 日経っても音楽を止めることなくお楽しみいただけます。またバッテリーが必要になった場合も 20 分の充電で再び再生が可能です。

- **「True Stereophonic」全方位サウンド**

Marshall 独自の「True Stereophonic」全方位サウンドにより、ユーザーがどこにいても多方向から音楽を聞くことができ、立体的かつ臨場感あふれるサウンドを体感できます。

- **IP67 の防水防塵対応**

タフな設計により、ほこり、砂、汚れ、水しぶきなどのあらゆる外的要因に対応可能です。1メートル水深の環境でテストされており、30分間もの耐性を示しています。

- **多方向に操作できるコントロールノブ**

コントロールノブは多方向に操作でき、簡単に音楽を再生できます。通話への応答、音量調整もスムーズに行えます。

- **ポータブル充電器としての機能**

再生中の音楽を途中で中断しなくても、スマートフォンの充電器として使えます。ユーザーは接続のみすればよく、残りはスピーカーに任せられます。

- **内蔵マイク付き**

内蔵されたマイクにより、完全にハンズフリーの通話ができます。スピーカーを安定した場所に置けば、スマートフォンに縛られず会話をお楽しみいただけます。



## ■ 発売情報

- 販売店：公式 EC 発売 (<https://www.marshall.com/jp/ja>)、ヨドバシカメラ・ビックカメラなどの家電量販店、Amazon、楽天市場 Marshall 公式ストア、完美電気 Marshall 公式ストアなど（取扱店については順次追加予定）
- 価格：51,990 円（税込）

技術仕様：

製品本体	寸法 [幅 x 奥行 x 高さ]	230 x 98 x 110
	重量 [g]	1,800 g
	カラー	Black & Brass または Cream
オーディオ仕様	パワー・アンプ	2 つの 30W クラス D アンプ (ウーファー) 2 つの 10W クラス D アンプ (ツイーター)
	ドライバー	2 つの 3"ウーファー 2 つの 0.6"ツイーター
	最大音圧レベル [dB]	91
	周波数帯域	45Hz~20 kHz
付属品	USB Type-C to C 充電ケーブル、ストラップ	

## Marshall Group について

Marshall Group は、オーディオ、テクノロジー、デザインの分野で革新を生み出し、ミュージシャンと音楽ファンをつなぐグローバルブランドです。主カブランドである Marshall は、60 年以上にわたり、ライブステージから自宅、外出先に至るまでロックンロールの精神を体現し続け、唯一無二の存在として確固たる地位を築いてきました。世界 90 以上の国と地域で展開される Marshall の製品は、約 800 名の情熱あるスタッフによって開発・提供されており、音楽とともに生きるすべての人に向けて、進化し続けています。